

令和6年度 北海道大学低温科学研究所 研究集会

日時：2025年1月9-10日（木-金）13:00-18:00（初日）、9:00-16:05（二日目）

課題名：世界の氷河氷床変動の理解に向けた研究集会 ~現地観測-衛星観測-モデル計算の連携~

現地会場：低温科学研究所 3階講堂

低温研までのアクセス：<https://www2.lowtem.hokudai.ac.jp/about.html#5>

オンライン会場（聴講のみ）：

Zoomリンクをお伝えしますので 下記フォームに回答ください。

<https://forms.gle/FKSv1odm2wPkB1Dp9>

プログラム（敬称略）

一日目（1月9日）

13:00-13:10 開会の挨拶、趣旨説明、事務連絡

大沼友貴彦（宇宙航空研究開発機構）、杉山慎（北海道大学低温科学研究所）

グリーンランドの氷河氷床 1（13:10-14:30, 司会：西村基志）

13:10-13:30 2024年夏グリーンランド北西部カナックでの観測報告

西村基志（信州大学）

13:30-13:50 Subsurface Heat flux in Greenland's Accumulation Area

斉藤潤（北海道大学）

13:50-14:10 氷河環境における栄養動態解析手法の検討

小野誠仁（京都大学）

14:10-14:30 グリーンランド、カナック氷帽における雪氷藻類に寄生するツボカビの感染率の時間変化

小林綺乃（千葉大学）

14:30-14:45 休憩

グリーンランドの氷河氷床 2（14:45-16:25, 司会：近藤研）

14:45-15:05 グリーンランド北西部カナック氷河における UAV 測量と氷河表面の経年変化

矢澤宏太郎（北海道大学）

- 15:05－15:25 グリーンランド北西部カナック氷河における UAV を用いた氷河上河川流路の解析
山田宙昂（北海道大学）
- 15:25－15:45 グリーンランド北西部カナック氷河における 1950-2023 年の河川流出量復元
近藤研（名古屋大学）
- 15:45－16:05 グリーンランド北西部カナック氷帽における数値実験
今津拓郎（北海道大学）
- 16:05－16:25 Influence of ice dynamics and spin-up methods on simulated future changes of the
Greenland ice sheet
GREVE Ralf（北海道大学）

16:25－16:40 休憩

スバルバル・アラスカの氷河（16:40－18:00, 司会：波多俊太郎）

16:40－17:00 ボアホールカメラを用いたスバルバル諸島 Kongsvegen 氷河における熱水掘削孔壁観
察
波多俊太郎（北海道大学）

17:00－17:20 Terminus dynamics of Taku Glacier, Alaska, during the recent transition
張 佳晏（北海道大学）

17:20－17:40 アラスカハーディング氷原の赤雪発生要因
大沼友貴彦（宇宙航空研究開発機構）

17:40－18:00 メタゲノム解析を活用した氷河微生物生態系研究
村上匠（東京科学大学）

二日目（1月10日）

アジアの氷河積雪 1（9:00－10:20, 司会：有江賢志朗）

9:00－9:20 光学衛星画像を用いた飛驒山脈・杓子沢氷河の体積変化の算出
有江賢志朗（宇宙航空研究開発機構）

9:20－9:40 衛星リモートセンシングによる雪氷圏観測 ～北海道における積雪粒径～
越野真都佳（三重大学）

9:40-10:00 機械学習を用いた Sentinel-2 画像の積雪面補完
菅野翔永 (東京科学大学)

10:00-10:20 中央アジア, 天山山脈北部地域における氷河・モレーンコンプレックスの形成環境
水野向陽 (新潟大学)

10:20-10:35 休憩

アジアの氷河積雪 2 (10:35-11:55, 司会: 永井裕人)

10:35-10:55 ネパールとモンゴルにおける氷河近傍の降水量データの補正
鬼頭茉由 (名古屋大学)

10:55-11:15 モンゴル、ポターニン氷河におけるアルベド
坂井亜規子 (名古屋大学)

11:15-11:35 氷河岩屑被覆の熱抵抗値導出手法の改良と不確定性検証
永井裕人 (立正大学)

11:35-11:55 熱抵抗値法を用いた熱収支モデルによるデブリ氷河融解量の推定
佐藤洋太 (海洋研究開発機構)

11:55-13:10 昼休憩

アジアの氷河積雪 3 (13:10-14:10, 司会: 佐藤洋太)

13:10-13:30 氷河湖決壊洪水における CaMa-Flood を用いた河川流シミュレーション
大見侑太郎 (東京科学大学)

13:30-13:50 Glacier mass loss in the High Mountain Asia under current climate
Etienne ARNAUDO (東京科学大学)

13:50-14:10 ロールワリン領域の局地気象再現実験
橋本明弘 (気象研究所)

14:10-14:25 昼休憩

南極氷河氷床・南半球の氷河 (14:25-16:10, 司会: 小長谷貴志)

14:25-14:45 雪尺観測でみる南極氷床内陸の表面質量収支

津滝俊（国立極地研究所）

14:45－15:05 ヘリコプター搭載型氷厚探査レーダーの開発状況と初期結果
橋本大志（国立極地研究所）

15:05－15:25 ペリート・モレノ氷河の急速な氷質量損失のトリガーは何か？
箕輪昌紘（北海道大学）

15:25－15:45 氷床モデル IcIES を用いた気候実験の開発状況
小長谷貴志（海洋研究開発機構）

15:45－16:00 総合討論と来年度の予定（司会：大沼友貴彦）

16:00－16:05 閉会の挨拶
杉山慎（北海道大学低温科学研究所）